

たじみん昼話 58

努力をするしかない、最後まで粘り強く

石川さんが、卓球女子の日本一に返り咲いた。ここにくるまで、彼女は何度か折れそうになりながら、大変な努力をしたことは、想像に難くない。

彼女の頑張りは、「努力は必ず報われる」を実現した例と言えるだろう。でも、ききょうは思う。努力は必ず報われるのだろうか。

対戦相手の伊藤選手だって、ものすごい努力をしてきたはずだ。参加選手全てが、血のにじむような努力をしてきたはずだ。だが現実には、負けて報われなかった。やはり、「努力は必ずしも報われない」が正しいのではないか。

そもそも何が、石川さんと「参加人数-1」の人達の明暗を分けたのだろうか。

この答えは、「最後まで諦めない想いの強さだった」。試合後のインタビューで全選手が、試合の瀬戸際における想いの強さが勝敗を決めたと口をそろえて語った。その他の選手が、「ここまでか」と諦めてしまうところを、石川さんは、「何が起こるかかわからない、絶対最後まで諦めない」想いを最後まで持ち続けることができたことが、勝負の明暗を分けたのだ。

このことから受験生の皆さんに言いたい、夢を叶えるには大切なことが2つあるということだ。第1が、「努力が必要だ」ということだ。幸い受験は試合と違い、勝者は1人ではないので夢が叶う確率は高いのだ。もちろん努力しなければ報われる確率は低くなるのは自明だ。一生懸命やって、さらにやって、もっと滅茶苦茶やって、ようやく夢は叶うのが現実だからだ。

そして、第2は最後まで諦めないことだ。野球の打撃やバレーのスパイクは、フォロースルーが大切だと言われている。プレーを途中で緩めると、強い打撃が生み出せないからだ。同様のことが空手の瓦割でも言われている。瓦割りは、瓦の下を打ち抜く思考で行わないと失敗するからだ。このことから、物事は最後まで手を抜かないことが成功の秘訣だということがわかる。

受験生の皆さん受験のその先にまで打ち勝つつもりで挑もう。そして、今まで努力を継続してきた自分を信じて、最後まで諦めないことだ。

もちろん不安もあるだろう。しかし、皆さんなら大丈夫だ。三年間かけて、「最後まで、絶対諦めない心」と「努力の継続力」を、多治見高校で作りに上げてきたのだから。